

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

病院組合ニュース

2015. 9. 30
No.89

愛知県病院事業庁職員組合
〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎内
電話(052)212-8031 FAX(フアックス)0120-930-340
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp

2015総合要求提出 組合員の賃金、権利 福利厚生などの向上を求める

総合要求は、給与休暇などの改善を求めて、県職と同様に取組んでいます。病院組合では、6月に皆さんに取り組んでいただきました「アンケート」を取りまとめ、9月16日、病院事業庁へ要求書を提出しました。

賃金・権利・福利厚生・安全衛生等「2015総合要求」に関わる主な要求

I 賃金・諸手当関係

- 1 自家用者の時間外勤務手当の改善
勤務時間外の公用車等使用による移動時間で、「自家用車使用」の公署発着について、時間外勤務手当の支給対象とすること。
また、同乗者について、命令権者により取り扱いが異なるように、改めて「支給対象となる要件」の周知・徹底を図ること。
- 2 通勤手当の改善
 - ③ 2km未満の通勤手当（公共交通機関利用）について、支給対象とすること。
- 3 時間外勤務の改善
 - ① 恒常的に時間外勤務が多い職場については、時間外勤務が増大している原因を調査・検証し、その縮減策を図るとともに、時間外勤務手当の支給に支障が生じないように、職場からの予算増額の要求には速やかに措置すること。
- 4 薬剤師の調整措置
26年度以前の、6年制大学卒業の「薬学」採用職員について、27年度採用の「薬剤師」採用職員と、調整措置等を講じること。

II 権利関係

- 1 仕事と家庭生活の両立支援
仕事と家庭生活の両立支援関係において、当面、次のとおり改善を図ること。
 - ② 介護を行う職員のための「短時間勤務制度」を導入すること。
 - ③ 「育児時間」の対象となる子を、1歳6か月から3歳までに拡大すること。
- 2 休暇取得の拡充
 - ① 不妊治療のための休暇を設けること。
 - ② 子の参観休暇（家族休暇）について、対象となる行事にPTA活動、親子遠足を加えること。
- 3 女性職員の積極的な役職登用
女性職員の活躍促進に向けた取り組み指針に基づき、女性職員の役職への積極的な登用を図ること。
- 5 育児休業等の充実
育児に係る休業等（部分休業、育児短時間勤務）において対象となる子の年齢を拡大すること。

6 休暇取得の促進

- 変則勤務職場など、依然、年次休暇・夏季休暇等が取得しにくい状況を踏まえ、取得促進に向け、具体的な対策を講じること。
- 8 現業職員の主査級への登用
現業職員について、適切な人事評価により、積極的に主査級への登用を行うこと。

III 福利厚生・安全衛生関係

- 5 メンタルヘルス対策の充実
メンタルヘルス対策について、労働安全衛生法の改正により、メンタルストレスチェックが義務化されたことを踏まえ、相談・診断体制の充実・強化を図るなど、休職者を減少させるための施策を実施すること。

IV その他

- 2 現業職員の給料表の協議
現業職給料表で、平成28年度までの経過措置としている号給増設部分（4級・5級）の取り扱いについて、職員構成も踏まえ、組合と協議すること。
- 5 名刺の負担
名刺を公費負担にすること。

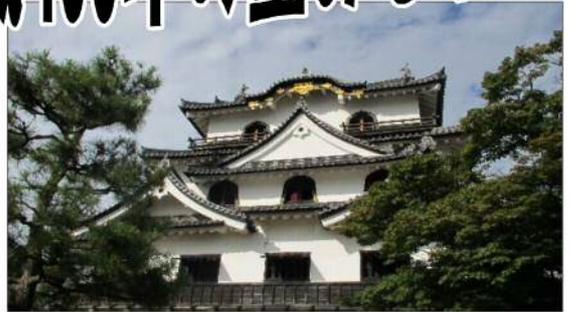
＜病院組合2016年度本部役員＞

執行委員長	権田 行儀	(再)	がんセンター中央病院分会
副執行委員長	上田 一郎	(再)	城山病院分会
書記長	大参 順子	(新)	がんセンター愛知病院分会
執行委員	小出 博孝	(再)	城山病院分会
"	竹内 圭	(新)	あいち小児保健医療総合センター分会
"	矢澤 あや子	(新)	がんセンター中央病院分会
"	河邊 眞千子	(新)	あいち小児保健医療総合センター分会
"	安藤 堅	(新)	がんセンター愛知病院分会
"	都築 芳郎	(新)	病院事業庁本庁分会
監査委員	安藤 正紀	(新)	がんセンター愛知病院分会
"	樋口 将希	(新)	病院事業庁本庁分会

病院組合レク



黒壁スクエア、シト口な雰囲気満載 圧巻！彦根城400年の重みを堪能



8月30日(日)、滋賀県にある黒壁スクエアと彦根城へ行きました。参加者は、当日のキャンセルもあり41人でした。
お天気は雨も降らず、黒壁スクエアの町並みを楽しみ、ホテルでのランチバイキングの後、彦根城を散策しました。

きれいだったガラス館 彦根じょうは攻めにくそう！

夏休み最後の日曜日に、初めてのバスツアーに行きました。

昼食の時、パンやコーンスープなどがおいしくて、たきさん食べ過ぎました。

次に、黒壁スクエアに行つて、ガラス館で飛ごうきなどを見て、きれいだなと思いました。

巨大なそうがん鏡もキラキラしてきれいでした。その後、彦根じょうへ行つて、矢と銃の狭間があり、坂が急で、攻めにくそうでした。

ピッコ大会で、一等賞のけい品がもらえなくてくやしかったです。しかし、トリプルリーチだったのは、うれしく楽しかったです。

次のバスツアーがあれば、行きたいです。

大橋 哉斗(10歳)
大橋 みどり

(がん中央病院分会)



女性パワー全開！日本母親大会

8月1日(土) 兵庫

生命(いのち)を生み出す母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」を掲げ、母親・女性の願いを総結集する「日本母親大会」が8月1・2日、神戸市で開催されました。

会場となった神戸国際展示場まで、途中から御一緒にしたグループの中には84歳、81歳の男女の方もおられそのお話には早くもパワーを感じました。そして会場に入ると全国から大勢の女性達の熱気に溢れていました

また、県内でも開催された「愛知母親大会」へ2名が参加しました。

私が選んだ弁護士・金杉美和さんの講演会は、拍手と笑いとどよめきで、皆さんが熱心に耳を傾けていました。ライダーで空を飛びパイロット目指していた大学時代のお話しかし、パイロットの夢を断念せざるえなくなつて感じた社会への思い。そして、憲法の魅力を知り弁護士に挑戦し、その職に就いて



全国から延べ11,100人が参加

からも憲法の重要性を私達の講演会でも話されたように、とてもわかりやすく伝える活動に貢献。

日頃、仕事と家事と実母の介護に追われていると、つい問題意識を感じる間もなく毎日過ぎていきます。憲法とは何か。平和はどうなっていくのか。今現在女性の置かれた立場はどうなのか。今回の母親大会で、いろいろと考えてみるきっかけを得た気がします。

舘 美津子

(がん中央病院分会)